

令和4年度 三重県立白山高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録概要

令和4年11月24日(木) 18:30~

白山高等学校 2階 会議室

1. あいさつ

白山高等学校長

9月以降、新型コロナウイルスの感染拡大が心配されるなか、感染症対策を徹底しながら、順調に学校生活を済ませることができた。

10月下旬に静岡・山梨方面へ2年生の修学旅行、11月上旬に保護者家族限定で飲食を伴う模擬店の出店もある文化祭を実施した。まだまだ制限を受けた状態での学校運営だが、授業や行事などを含めた多くの教育活動が行える喜びを実感しているところだ。

第2回協議会以降、どの部活動も精力的に活動しているが、陸上競技部が砲丸投げで東海新人大会出場、レスリング競技で全国大会出場、ボクシング競技で全国優勝、現在スペインでの大会に挑んでいる。

生徒には、3年間の学びを通して、社会に出たときに困らない力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力など）を一定身につけさせたい。今後も、充実した学校生活を送れ、様々な力を身につけられるよう取り組む。

また、生徒募集に係る中学生や保護者への説明会を、初めての試みとして7月に一志地区で夕方に実施した。また、8月、10月には、校舎・部活動見学、模擬授業体験を行った。今年度は、教職員による学校説明の他、在校生による「高校生活の生の声」を届けることができた。成長した高校生による具体的に高校生活を説明する様子は、本校のことを一定理解してもらえた。本当の白山高校のことを知ってもらい、この学校で学びたいと考える中学生に入学してもらえたら良いと考え実施した。

本日は、生徒の日頃の様子なども具体的な説明をする。学校運営等に意見を伺いたい。

【主な行事の参加人数】

8月9日(火)	保護者向け学校説明会	15名
8月23日(火)	夏季学校説明会	約100名
10月15日(土)	秋季学校説明会	40名
11月12日(土)	文化祭	外部から約150名
11月16日(水)	公開授業	7名

2. 報告事項

(1) 生徒と保護者等の意見収集（生徒と保護者等のアンケート報告）【総務】

- ・ 生徒アンケート（9月実施）では、学校生活に満足している生徒は9割と高いが、学校の地域活動を知ってる生徒は半数と、地域を学ぶ取組をいかに浸透させるかが課題。
- ・ 教職員アンケート（10月実施）では、入学生に基本的な生活習慣の確立が必要で、地域にインターンシップや学校との連携を増やしてほしい意見があった。
- ・ 秋季学校説明会（10月）のアンケートでは、参加中学生は、白山高校のイメージは良くなったと答えた。入学したいと感じたのは6割、白山高校を希望する学校の一つと

考えるが4割であり、説明会の意義は大きく今後も生徒募集に向けた取組を進めたい。

(2) 授業公開について【教務】

- ・ 例年数時間の公開だが、今回は丸1日公開した。タブレットを使った学習意欲を高めた授業内容や、複数の先生で工夫しながら基礎学力の向上に取り組んでいるといったポジティブな意見をいただいた。今後もたくさんの関係者に公開していきたい。

(3) 自己評価（中間評価）について【教頭】

- ・ 生徒の個人面談、保護者懇談、家庭訪問など連携を図り、生徒が意欲的で安心して学校生活を送れるよう取り組んでいる。
- ・ 仲間づくりのLHRや命を大切にする講演会、登校指導、卒業生と語る会、地域美化活動、情報発信、外部機関の導入を行い、生徒の支援を心掛けている。
- ・ 職員の働き方については、部活動の時間外労働時間が増えている。

(4) 生徒の状況について

【生徒指導】

- ・ 生徒指導運営について、人員不足で登校指導等回数を減らす対応をしている。
- ・ 携帯電話・SNSによるトラブルなど、複雑化しており一つの指導に時間がかかる。
- ・ 頭髪服装指導は、就職試験を目指し指導している。
- ・ 遅刻数は減少しているが、多い生徒には家庭と連携して柔軟に対応している。

【進路指導】

- ・ 就職希望者43名中内定は39名。未内定者は試験や進学なども視野に入れて活動している。進学はこれから受ける生徒が多い。
- ・ 卒業生と語る会は4社の社員から講話いただいたが、もう一度話をしたいという声ももらった。

3. 協議事項

(1) 教育課程の要望等について

- ・ 信頼向上委員会のやっていることは何か。
- 生徒対応や主体的に提案できる教職員を目指し、教職員のコンプライアンスなど啓発活動をしている。
- ・ 電車や駅までの道路で数人の生徒が車にあたりそうになる。左右を見る等意識しないと危険である。
 - ・ 遅刻の激減は満足度と相関があるか。学校満足度の経年変化を教えてほしい。
 - ・ 学校説明会の案内は中学校で配付か。
- 中学校の進路指導部に取りまとめてもらっている。参加者にはよかったと言ってもらった。
- ・ 運営協議会に学校からの要望はないか。白山高校を外部に理解してもらうためぜひ協力したい。

- 地域にはお世話になっている。インターンシップ、美化活動など引き続き応援していただきたい。コロナ禍ではあるが、少しずつでも社会に開けた学校としたい。異年齢との語らいなど、ちょっとしたことでも意義がある。
 - ・ 新しいコースはいつできるのか。
 - 情報コミュニケーション科で来年度から充実を検討している。地域に出てみなさんのお力を授業の中でお借りしたい。
 - ・ クラスと教員定数は今後減るのか。職員は年に数人減少するのか。
 - 県下で生徒減は同じ状況で、職員の数は減ることが想定されるが、県の財政状況にもよる。職員の中で仕事の割振りを考えていきたい。
 - ・ 中学校との連携等の成果はどうか。
 - 小中学校に働きかけ、オンラインで授業等を共にし、生徒の自己肯定感を高めつつ、小中学生に高校の内容を知ってもらう活動を続けている。
 - ・ 保護者が体験入学に行って、これまで持っていた悪いイメージが変わった。外部の方と「白山高校は変わった」と話したところだ。もっと外部の方に来てもらう機会を作ればと思う。
 - ・ 教職員が面談など生徒と対話をするを大切にしており、教職員と一緒にいろいろ考えていることが伝わってくる。
 - ・ 来年度、3クラスから2クラスに減少することから、校内行事など活気がなくなることなどを心配する。行事の持ち方など考え、高校生としての味が出るよう工夫してほしい。
 - 行事は精選しつつ、これまでと同じではなく、ゼロベースで臨んでいきたい。
- (2) その他 なし

4. 連絡事項

(1) 次回の日程について

第4回 3月 2日(木) 18:30~20:00開催予定。

(2) その他 なし